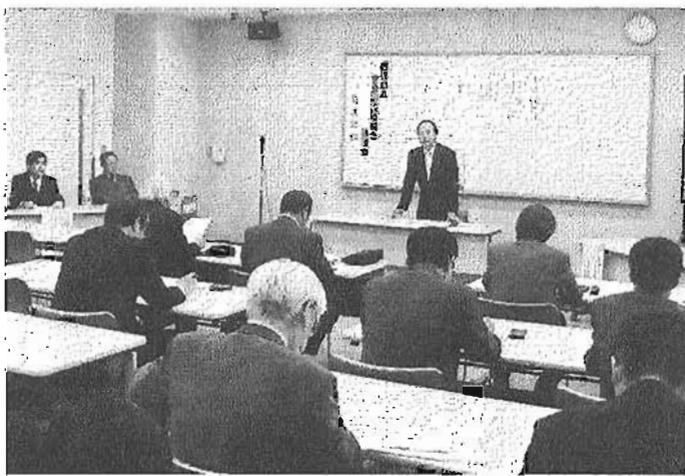


県官公需適格組合協議会が設立

受注体制、能力の向上を

初代会長に山ノ内氏



各関係機関への建議及び陳情等の事業計画を決めた総会＝鹿児島市のかごしま県民交流センターで



山ノ内 文治会長

鹿児島市のかごしま県民交流センターで開き、官公需適格組合の情報収集及び情報交換などを行う事業計画などを決めたほか、初代会長に県建設事業協同組合の山ノ内文治理事長を選任した。

同協議会は、本県の官公需適格組合の結束も図り、共通問題の解決を図り、官公需に関する情報を迅速に提供すること等により、各組合の受注体制の整備、受注能力の向上を実現し、中小企業の経営の安定と経済的地位向上を図ることを目的に設立された。

また総会では、星野氏による「官公需施策の最近の動向」と題した特別講演も行われた。役員は次の通り。

の名越郁郎県建設事業協同組合専務理事、来賓の全国官公需適格受注確保協議会の星野輝夫会長らの挨拶の後、名越氏を議長に選出し議事に移り、同協議会定款案、事業計画案並びに収支予算案などについて審議した結果、全会一致で可決承認した。また、役員選出では初代会長に山ノ内氏、副会長に名越氏を選任した。



業務の安全管理など学んだ講習会＝鹿児島市の多目的交流センターテクノホールで

日本溶接協会支部安全講習会

日本溶接協会支部（相良連支部）は8日、鹿児島市の多目的交流センターテクノホールで安全講習会を開き、会員らはアーク溶接に関する業務の安全管理など学んだ講習会

会長＝山ノ内文治▽副会長＝名越郁郎▽理事＝新原敦幸男（県鉄構工業会長）藤元和弘（県設備設計監理事業協同組合理事長）内木場盛

（協業組合薩南浄水管理センター理事長）▽監事＝江口定子（県鉄構工業会事務局長）▽事務局＝県中小企業団体中央会

公取委が愛媛県発注工事で 法面約30社立ち入り検査

公正取引委員会は、このほど、愛媛県などが発注する法面保護工事の入札で談合を行っていた疑いがあるとして、同県内で法面保護工事を行う約30社への立ち入り検査に入った。

県は8日、16年度文部科学大臣賞受賞者（科学技術振興功績者）を発表した。本県では若元正孝氏（カクイ樹社長・鹿児島市）、上小鶴正康氏（樹コーアガス日本社長・川内市）、松元秀見氏（松元機工協会会長・須賀町）の3人が受賞。表彰伝達式は14日午前11時から、県庁で行われる。



J.C.スーパーパウダーで舗装する作業員＝東市来町の現場で



新商品・情報本は本社へお問い合わせ下さい

J.C.スーパーパウダー 高い浸透性で環境保全

（株）富士産業（徳田俊郎社長、鹿児島市）が販売する透水コンクリート「J.C.スーパーパウダー」が、県伊集院土木事務所発注の地方特定道路整備（楠木2の1工区）に採用された。高い浸透性で、

同製品を使用した舗装は、透水性、保水性、通気性、環境保全、貯水能力の向上、温暖化抑制などに効果が期待されています。また、施工性が良く、セメント系なので、多彩なカラーバリエーションや副資材との相性も良く、駐車場や歩道、車道などに使用できます。

ISO内部監査員研修会 監査員判定試験も



研修の目的や実施方法など学んだ参加者＝鹿児島市のかごしま県民交流センターで

研修会では、親切社長が監査の方法などは監査員によって千差万別だが、「どうやるかが違っていた」と、基本内訳が異なる

オールシステム 参加し、監査の目的や実施方法のほかチェックリストの活用などについて学んだ。

研修会では、親切社長の講師による環境マネジメントシステム及び品質マネジメントシステムの説明が行われた後、監査の種類やなぜ監査が必要かなどの目的と効果や監査の進め方、技法、結果の評価などの実施方法及び内部監査チェックリストの具体的な活用方法が解説された。このほか、テキストに基づきケーススタディ（不適合の抽出）の実施や研修会の終わりには監査員判定試験も行われた。